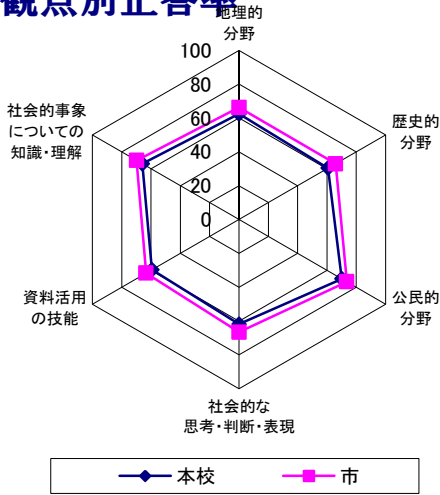


宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	62.4	66.2	58.0
	歴史的分野	60.8	65.8	60.8
	公民的分野	70.1	73.5	69.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	61.9	66.6	58.6
	資料活用技能	59.3	63.4	55.9
	社会的事象についての知識・理解	65.9	69.8	64.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○地理的分野の正答者割合は、他分野と比較すると、市平均正答者割合よりも大きく下回る問題は少ない傾向にあることがわかった。 ●地理的分野の正答率は、市平均より3.8ポイント下回り、記述式の問題の正答率が比較的低い傾向にあった。	【全体】 ・社会の正答率度数分布を市の分布と比較すると、本校の生徒は、50～60%の生徒が多く、逆に70～80%と90%～100%の生徒が少ない傾向が見られた。基礎問題の学力向上を目的とした学習に従来通り力を入れるとともに、基礎学力が定着している生徒に向けた活用問題の学習の充実も課題として加えていきたい。 【地理的分野】 ・グラフや地図の資料読み取りは良好なので、従来通りの指導を続行していく。また、自分で文章を考え記述する課題を授業や補充学習で多く取り入れるようにしたい。
歴史的分野	●歴史的分野の正答率は、市平均より5.0ポイント下回る。「冷戦」の正答者割合は市の正答者割合よりも12.0ポイント下回る。他分野の正答者割合と比較すると、歴史的分野の正答者割合は低い傾向にあった。	【歴史的分野】 ・他分野に比べて正答率が低い傾向にあるため、重要語句を確認させ、定着させるための学習に更に力を入れる。また、古文史料の活用や自分で文章を考え記述する課題を授業や補充学習で多く取り入れるようにしたい。
公民的分野	○公民的分野の正答者割合は他分野より高い傾向にあった。「憲法改正の手続き」の正答者割合は、市の正答者割合より6.2ポイント上回り、「議院内閣制」の正答者割合は市の正答者割合より1.7ポイント上回る。 ●公民的分野の正答率は、市平均より3.4ポイント下回る。「公共の福祉」の活用問題では、正答者割合が市の正答者割合より10.9ポイント下回る。	【公民的分野】 ・他分野に比べて正答率が高い傾向にあるため、従来通りの指導を続行していく。また、法律に関する活用問題を授業や補充学習で多く取り入れるようにしたい。